

## 東海市都市計画マスタープラン地域別説明会

地域	北部地域、臨海部地域
日時	令和5年（2023年）11月22日（水） 午後7時から午後8時10分まで
場所	しあわせ村健康ふれあい交流館 多目的ホール
参加者数	17人
次第	1 あいさつ 2 東海市都市計画マスタープラン（案）の説明 3 その他
質疑応答	
参加者 1	名和駅西地区がこれから整備されると思うが、らんらんバスの路線を新設するなどの計画はあるのか？
事務局	名和駅の西側は工業専用地域のため、らんらんバスは東側のロータリーにアクセスすることを考えている。
参加者 2	ゾーンの考え方について確認したい。 緩衝ゾーンとは何を意味しているのか？何の緩衝なのか？ 天宝新田、川北新田が入っているが、新たな産業系の市街地ゾーンは土地区画整理事業を行うのか？ 市役所の西側も土地区画整理事業をするのか？
事務局	臨海部の産業ゾーンと内陸部の居住ゾーンの緩衝帯として考え、産業施設や交流施設の立地を促す土地利用を想定している。 土地区画整理事業は現時点では考えておらず、民間活力を生かした土地利用を想定している。
参加者 2	緩衝ゾーンとなっているのは新日鉄前駅の西側も含まれており、加家地域の中心部であるが、そこが居住できなくなるのか？
事務局	現時点で宅地が立地している場所では、居住は認める考えであり、この地区は工業系の用途地域となっているが、地区計画で住居系の土地利用のための規制も行っている。
参加者 3	緩衝の定義をもう少し明確にしてほしい。 公害とかが徐々に薄まっていくという意味か？居住がしにくい地域ということか？
事務局	鉄道の東は居住ゾーン、臨海部は工業ゾーンとし、その間の部分は工場の立地から徐々に住宅の立地となるような緩衝的な土地利用を考えている。住めないということではない。 工業ゾーンに隣接して居住ゾーンを設定するのは騒音等を考慮すると良好な居住環境の確保が難しいので緩衝ゾーンとしている。
参加者 3	資料 P10 の将来フレームについて、拡大が必要な面積の算定方法について知りたい。 市街化区域内で将来的に空き家、空き地になる部分もあるのでは？
事務局	現在家があるところは、将来も所有者は変わっても土地利用が継続されるという考え方である。それ以外で人口増の受け皿として市街化区域の拡大が必要だということを表している。
参加者 4	臨海部地域の土地利用はほとんど工場だが、名古屋港の展望を楽しむ公園や憩いの場を作る場所があるのか？

事務局	具体的な場所は示していないが、スポット的にそういった場所を確保することを検討していきたいと考えている。臨海部地域には、北部や南部に港湾緑地の位置付けがあり、それらも含めてスポット的に確保できないかと考えている。
参加者 2	幹線道路軸の位置付けについて、常滑街道は幹線道路軸の位置付けにならないのか。
事務局	そのとおりである。
参加者 5	ごみ集積場所が邪魔になるということで開発時に問題になることが多いが、ごみの問題はどのように考えているか？ 開発とセットで考えていくものではないか？市が何とかしてくれないと、地元（自治会）では何ともできない。
事務局	ごみ集積場所の設置は、具体的に開発計画等が進んでいく段階で個別に検討するものであり、都市計画マスタープランでは具体的に示すものではないと考えているものの、そのような問題があることは担当課に意見を共有する。
参加者 6	スライド 47 の新市街地候補ゾーン（産業系）について、最初に造成されたところは草が生えており、道路まではみ出ており迷惑している。
事務局	担当課に意見を共有し、対応を検討する。
参加者 7	伊勢湾岸道路大府 IC の南側の市街地候補ゾーン（産業系）は、開発と合わせて道路を広げる等の対策もするのか？現時点でも渋滞が問題となっており、さらに影響は出てくると思う。
事務局	伊勢湾岸道路大府 IC の南側の市街地候補ゾーン（産業系）は、現時点ではまだ具的な計画はないが、開発を検討する際には道路計画も合わせて検討することになる。

#### 会場の様子



地域	東部地域、中央地域、臨海部地域
日時	令和5年（2023年）11月24日（金） 午後7時から午後8時15分まで
場所	商工センター 多目的ホール
参加者数	9人
次第	1 あいさつ 2 東海市都市計画マスタープラン（案）の説明 3 その他
質疑応答	
参加者1	尾張横須賀と高横須賀の間の地域などは緊急車両が入れない狭あい道路が多いが、市が主導で事業などを実施していくのか。
事務局	古くからの既成市街地では、狭あい道路が多い状況となっている。住宅の個別の建て替え時にセットバックを順次行っていただき、徐々に拡幅されるイメージである。
参加者1	基本はセットバックなのか。
事務局	市内全域の狭あい道路を市で買収して広げることは現実的に難しい。セットバックを基本と考えている。交差点から交差点までの区間で地域で同意がいただければ、建物の補償は考えていないが塀などの工作物は市が補償して、セットバックによる用地買収を進めることは可能である。
参加者1	そのような手法をもっと市民に周知する必要があると思う。
参加者2	①「進める」、「検討する」などの表現があるが、いつまでに何をやるのかは示されないのか。 ②上野台公園の入り口の交差点では過去に死亡事故が起こっている。その場所では押しボタン式の信号が設置できないということであるが、歩道橋の設置や横断歩道をずらすなどの対策はできないのか。 ③東部地域にある（都）名古屋半田線の残りの4車線化は早急をお願いしたい。 ④明倫小学校は、生徒数が少なくなっている。他の小学校と統合することも検討してもよいのではないかと。また、明倫コミュニティも同様である。
事務局	①優先順位は個別計画で明確にしていくものと考えている。ただし、現時点で実施している事業と、現時点では実施していない事業の実施にあたり検討を進めていくものがある。このため、表現を変え、強弱をつけている。 ②上野台公園入り口の交通安全対策は、担当課に意見を共有する。 ③（都）名古屋半田線は、現在も愛知県と協議をしており、連携して検討を進める。 ④小学校の統合やコミュニティの統合についても担当課に意見を共有する。
参加者1	大田町のコメダ珈琲から東側の道路は、2車線と聞いているが、なぜ4車線ではないのか。愛知県も4車線化ではという見解である。
事務局	この路線（市道太田川駅前通り線）は担当課が土地改良事業と連携して現在事業を進めている。市道なので担当課も計画を持って進めているので、今から変更するのは難しい。

会場の様子



地域	南部地域
日時	令和5年（2023年）11月27日（月） 午後7時から午後8時00分まで
場所	加木屋市民館 体育館
参加者数	9人
次第	1 あいさつ 2 東海市都市計画マスタープラン（案）の説明 3 その他

質疑応答	
参加者 1	八幡新田駅の駅前広場の整備はこれからの課題ではない。地権者との話を進め、市と契約をした経緯があるので、優先度は高いのではないかと。
事務局	八幡新田駅周辺は、安心安全に駅まで行くことができる道路整備を考える必要があることと駅を中心としたまちづくりのため、駅前広場は必要な施設と考えている。駅前広場の整備は、現段階では、加木屋中ノ池駅周辺で実施しており、今後は、南加木屋駅と八幡新田駅周辺を整備することになる。整備にあたっては、現地の状況や予算などを考慮して計画的に進める必要があるため、現時点で駅前広場整備の優先順位をつけることはできないが、八幡新田駅の駅前広場も整備を検討していく考えである。
参加者 1	八幡新田駅の駅前広場の整備は地権者との契約をした時点では早期に整備を進める予定であり、加木屋中ノ池駅や南加木屋駅の駅前広場よりも優先順位が高かったため、安心安全なまちづくりのため、地域の人たちのために八幡新田駅の駅前広場の整備を進めてもらいたい。
参加者 2	スライド 57 に愛敬池・加木屋大池の記載があるが、南部地域には島田池もある。現在大田川に流れ込んでいる雨水の一部を島田池に流し込むという話もあったが、記載がないのはなぜか。
事務局	愛敬池・加木屋大池は防災重点農業用ため池の指定があるため明記している。島田池はそれには該当していないため、「ため池を活用した、浸水対策を検討」に含まれており、浸水対策として、ため池の活用を検討していく考えである。

#### 会場の様子

